

「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」作文練習 07

木下大輔

2022年03月30日

1 第一問

「多くの食品は、カビの発生を防ぐために、真空パックや脱酸素剤などを利用して保存性が高められている。」という文がありました。「…動詞 + られる」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「ただし繁殖力が旺盛なので、拭き取るだけでは一時的な対策にしかない。」という文がありました。「…だけでは…動詞 + ない…」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「高齢になるほど皮膚が角化し白癬菌が住みやすくなることから、高齢者ほど水虫の患者が増えるといわれている。」という文がありました。「…動詞 + ほど…動詞 + やすい」（または、「…動詞 + れば…動詞 + ほど…動詞 + やすい」）を含む文を作りなさい。

4 第四問

「除湿機などを活用し、なるべく室内の湿度を下げるのが有効だが、除湿機の掃除をおこたると、そこがカビの温床となり本末転倒だ。」という文がありました。「…なるべく…」を含む文を作りなさい。

5 第五問

「しかし、この最適温度を外れても、カビは死滅するわけではない。」という文がありました。「…わけではない…」を含む文を作りなさい。

6 第六問

「また、種類によってはマイナス7°の環境でも生育できるものがあり、冷凍食品や氷にさえもカビが生える可能性がある。」という文がありました。「…さえ…」を含む文を作りなさい。

7 第七問

「カビの種類によっては、無性生殖に加えて有性生殖を行うものもいる。」という文がありました。「…に加えて…」を含む文を作りなさい。

8 第八問

「嫌われ者のイメージが強いカビだが、一部では、私たちの生活に欠かせないはたらきも担っている。」という文がありました。「…欠かせない…」を含む文を作りなさい。

9 第九問

「雨の日がつづき、さらに蒸し暑い梅雨時には、室内がジメジメとした環境になりがちだ。」という文がありました。「…がち…」を含む文を作りなさい。